

地域づくり協議会は、地域における『ファシリテーター』の役割を担います

前にも述べましたが、私達は「人散」においても「資金力」においても、全く新しい組織です。私達が行政の代わりに、全ての皆さんにサービスを提供できるわけではありません。私達ができることは、地域の課題に気づき、市民レベルでそれを解決するために、人や団体等と結びつけ共に働くことです。

いわば、地域におけるファシリテーターといえます。ファシリテーターとは、「会議や活動の中で、進行や調整を行う役割を担う者」を言っています。石井市長は、講座の中でファシリテーターを、「定義づけました」。

『組織が成果を上げるように、人と人との効果的なコミュニケーションの場を作り、一人一人のパワーを最大限に引き出し、多様な考えをまとめつつ、いわゆる意見が対立する中でも合意形成に導き、実行に向けモチベーション（意欲）を高める役割』私達は、課題を掘り起こす段階にあります。この後私達は、課題に応じ各団体やサークルの皆様と連携・協力し、その解決に向け努力していきます。



にぎわい班 榎原代表

『お年寄りから子どもまでが集むことに活きる町』

和田を元気にするために
イベントを提案したり
和田の良さを
発信したりします

初めてのイベントとして、「ありがたう さよなら わた役場」を企画しました。和田町行政のシンボルであった「和田役場」への感謝と新施設の働きへの期待を込めたイベントです。多くの方のご来場をお待ちします。

また、和田の郷土料理の発掘や地域素材を使った自慢料理の開発などを通じて、和田の良さを発信すると共に「わだいいとろろ」を提供し、これからの賑わいを創り出していきたいと考えます。



安心・安全班 内田代表

『手を取らぬの
誰かひとりでぼろにしろ町』

安心・安全を守るため
地域の「ミニコミュニケーション」
づくりを大切にします

そのためには、お一人お一人が安心・安全に対して、どのような事を考えているのか知りたいと考え、全戸を対象にアンケートを実施します。アンケートを集計・分析し、私達が何から取りかかっていくべきかを見定めていきたいと考えます。しかし、私達の活動の原則は「知恵を出したり、汗を流したりしてできること」です。また、地域の課題を行政に伝え、改善に向け働きかけていくハイフ役にもなりたいと考えます。



生きがい班 長谷川代表

『夢の活動し合える
まちをつくる』

『夢の活動し合える
まちをつくる』
1年間をかりて取り組む
もっと長い時間をかりて
を繰り返すこと

既存の文化的・体育的な活動、公民館活動、ボランティア活動や地域行事などの状況を洗い出し、その情報を皆さんが共有できるように発信したいと考えます。そして、活動への新たな参加や活動同士の交流が行われたい中で、広がりや伝承が見られればと願っています。その実現に向け、現在皆さんが抱える課題などをテーマとした、『寺子屋講座』を開催していきます。

第1回 寺子屋講座 開催される

3月6日(土)、和田地域づくり協議会準備委員会主催する第1回寺子屋講座が開催されました。あいにくの雨模様にもかかわらず、講座には百名近くの地域の方々が参加して下さいました。そして、「協働のまちづくりの考え方」や「地域づくり協議会設置のねらい」、準備委員会の各班の活動報告」に、熱心に耳を傾けて下さいました。



石井裕 市長

市役所 平川さん

報告の後で、参加して下さった方からご意見をうかがいました。そして、お一方から次のようなご意見が出されました。

「地域づくり協議会のイメージ図の中に、既存の団体やサークルとの連携が挙げられているが、それができていないのではないのか。また、「地域に協議会(準備委員会)の存在や活動が知られていなかったり、人数が足りない」というのは、各団体の参加や承認を得てのスタートがなかったからではないか？」



そのお答えは、市長が会のはじめに話されたことの中にあります。それは、

1. 旧来の行政が前面に出た「福祉」「防災」「自治」等では、全ての市民に平等でなければならぬという原則がある。また、支援するかどうか判断するには、基準に照らし、りして、時間がかかる(その後、予算をつけ、議会を通す)。
2. 景気の後退等で予算規模が縮小した多様化する住民のニーズに応える機動力に限界が見えてきている。
3. しかし、市民が自発的に行う活動では、気がついた事が気がついた時に始める事ができる。しかも、対象を特定してできる利点がある。
4. 行政側も改革を進める中で、市民と目的を共有し、役割を分担したり、専門的な知識や方法、活動資金等を提供したりすると共に、一緒に汗を流す必要がある。

「これをいことをできる所から始める」これが、市民活動の原則だと考えます。

私達は、行政組織のように「あまねくカバー」する事はできません。また、すべての団体等とも連携する力も、まだ備わっていません。しかし、地域の皆さんの声を聴き、できるだけお聞きし、私達の思いと合わせ、できるところから、一つ一つ取り組みを広げていきたいと考えます。



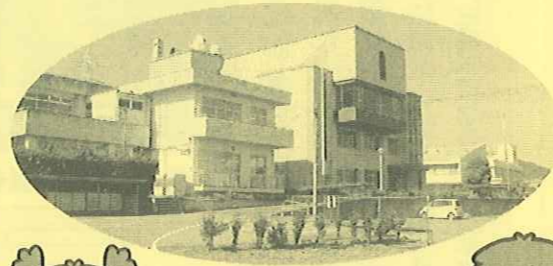
辻 準備委員会委員長

発行者 南房総市・和田の地域づくり協議会準備会
連絡先 南房総市役所和田支所内
地域づくり支援員 田島和幸 川上香織
携帯 080-4188-7103
支所 0470-47-3111
FAX 0470-4704181 (支所)

イベント **ありがとう さよなら わだ役場** の開催について

イベントの目的

- * 和田支所（役場）の存在を心に刻もう！
- * お世話になった和田支所（役場）に感謝の気持ちを持ち、お別れしよう！
- * みんなが集い、元気で楽しい1日を過ごそう！



日時 平成22年4月25日（日）
午前9時から午後3時まで
会場 南房総市役所和田支所屋内

クレヨン、クレパス、
クーピーをご寄付下さい！

左のプログラムにある「寄せ書き大会」に使わせていただきます。

これは、支所の壁に自由に絵や字を書いたりして、思い出を作ろうという企画です。主にお子さんが中心となると思いますが、大人の方の参加も歓迎します。クレヨン、クレパス、クーピーは、その寄せ書き（落書き？）に使います。

描く用具は、できるだけ自分で用意していただきたいのですが、会場でも用意しておきたいと考えます。

そこで、皆様のご家庭で使わなくなった物がありましたら是非ご寄付いただけたらと思います。連絡を頂ければ取りに伺います。

連絡先 47-3111（和田支所）
080-4188-7103（支援員携帯）

プログラム

10:00	開会セレモニー 1 会長挨拶 2 元町長の話 3 市長挨拶	10:00
10:30	寄せ書き大会	10:30
11:00	模倣店 クイズ大会 松風太鼓 餅つき 猪汁	11:00
11:30	クイズ大会 形式で説明していきます	11:30
12:00	クイズを、オリエンテーリング形式で説明していきます	12:00
13:00	クイズ、ビンゴとも、賞品を楽しみに！	13:00
13:30	ビンゴゲーム	13:30
14:00	現在、もう1つアトラクションを検討中です	14:00
14:30	閉会セレモニー 1 寄せ書き講評 2 和田への応援 3 実行委員長挨拶 4 歌声（庁舎への別れの歌）	14:30
15:00		15:00

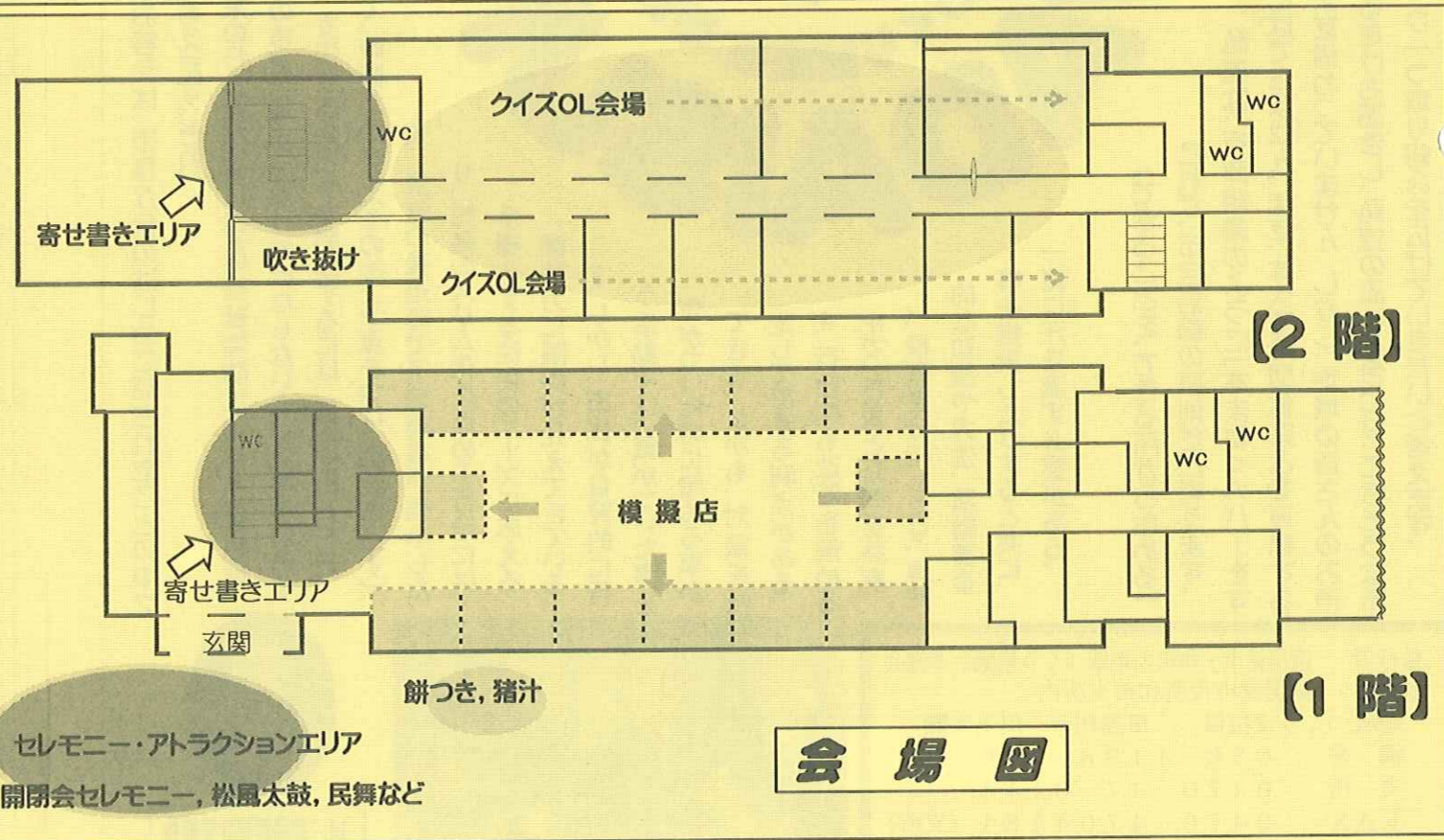


「第二回 寺子屋講座」でお知らせしましたように、和田地域づくり協議会（準備会）の初めての活動として「ありがとう さよなら わだ役場」と名付けた、賑わいイベントを開催します。

プログラムには、さよなら和田支所にちなんだ壁面への寄せ書き、地域の人達によるパフォーマンスなどが盛り込まれています。

また、更なる賑わいを創り出すため地元団体等による模擬店の出店、餅つきや餅の販売、猪汁の提供などが加わります。

四月の最終日曜日、ご近所やお友達と共に和田支所に集い、お世話になった和田支所にお別れをしながら、楽しい一日を過ごしませんか！



会場図